

---

## はじめに

愛知大学国際中国学研究センター（ICCS）では、2006年10月7日、愛知大学名古屋校舎（愛知県西加茂郡三好町）にて、シンポジウム「東アジアのエネルギーリンクー協力連携、市場競争、環境保全」を開催いたしました。

このシンポジウムは、COE-ICCSの「現代中国とアジア世界の人口生態環境問題」研究会の研究活動の成果に基づくものです。

東アジアの各国の現状は、多様であり、複雑です。経済安定期の日本、目覚ましい発展期の中国、朝鮮半島の不確実性を背負う韓国。それぞれの地域発展、経済成長が東アジアの新たなエネルギー需給に対する新しい見方を要請しています。東アジアのエネルギーリンクーはそのような背景のもと、注目されています。

このような認識において、各国から専門家をお招きし、開催されたシンポジウムの模様を以下にお届けいたします。

今後、このテーマはまだ追いつけなければならないテーマです。ご意見、ご批判をICCSまでお寄せいただくようお願い申し上げます。

また、お忙しいなか、本シンポジウムに御参加いただきましたパネリストの先生方、熱心に聴講、御意見をいただきましたシンポジウム出席の方々に厚く御礼申し上げます。

なお、このシンポジウムは愛知大学大学院経済学研究科の後援で開催されました。

2007年3月  
愛知大学国際中国学研究センター  
大澤正治

\*本報告書は、当日の録音記録に基づき、報告者および発言者がそれぞれ加筆修正をおこない、最終的にコーディネーター大澤正治の責任において作成した。